

## ヘルスバイオサイエンス研究部アドバイザー・ボード開催報告

平成 20 年度徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部アドバイザー・ボードが、8 月 1 日医学部第一会議室において開催されました。アドバイザー・ボードメンバーとして、今枝正夫（独立行政法人科学技術振興機構、JST イノベーションサテライト徳島館長）、須田立雄（埼玉医科大学客員教授・日本学術会議・学士院会員）、田中啓二（財団法人東京都医学研究機構、東京都臨床医学総合研究所所長代行）、鍋島彰宏（財団法人とくしま産業振興機構、知的クラスター本部事業総括）、松本忠昌（大鵬薬品工業株式会社代表取締役副社長、徳島大学知的財産本部客員教授、徳島大学・大鵬薬品工業研究連携推進協議会委員）、山下修司（大塚製薬株式会社常務執行役員、徳島研究所長）の各先生にご出席頂きました。本学からは、長尾副学長、林研究部長、曾根前研究部長、宮本、永田、高石副研究部長と安井医療教育開発センター長が出席しました。

研究部各系（医、栄養、歯、薬）と医療教育開発センターの総括と展望に関する報告の後、林研究部長から HBS 研究部全体の現状と課題に関する報告がありました。これらの報告を受けて総合討論へと移り、アドバイザー・ボードの各先生より貴重なご意見を頂きました。最後は、田中啓二先生による「プロテアゾーム研究の最前線」、須田立雄先生による「骨粗鬆症治療薬の現状と問題点」と題して公開ミニレビューが行われ、多数の教員、大学院生が聴講しました。



左から 今枝先生 須田先生 田中先生 鍋島先生 松本先生 山下先生



研究部各系とセンターの報告



ミニレビューで満席となった会場



ヘルスバイオサイエンス研究部長室にて打合せ